



代表取締役社長  
近藤 毅幸氏

統括管理部製品管理課  
ISO推進担当  
真野 進氏

現在、企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は極めて重要なテーマとなっています。今回は社内情報共有のレベルアップを図りながら、ノーコードツールの利用により業務効率化を進めている株式会社関一精機様にDX推進の取り組みをお聞きしました。

## 1. DX推進の取り組みとして、御社の状況をお話してください。

**近藤社長** 社内の情報共有ツールとして、LINE Worksの導入により情報共有がスムーズになりました。現場の全員がiPadを持ち、LINEWorksを使っています。毎月費用はかかりますが、その分保存容量も増え、活用の度合いを広げています。パートさんで9時出勤の方にも朝礼の内容をLINEWorksで伝えたり、有給申請などもスムーズに行えるようになりました。弊社には10人ぐらい、外国人の特定技能の人がいるのですがLINEWorksの自動翻訳機能を活用し、コミュニケーションを円滑にしています。さらに、オープンなコミュニケーションが促進され、全社的な連絡事項で「聞いていない」ということがなくなりました。

## 2. LINEWorksを使っているの課題はありますか。

**近藤社長** 全員が積極的に使っているわけではなく、オープンなコミュニケーションが活発になればいいと思うのですが、オープンな故に結構恥ずかしがってしまい、これを投稿したらみんなに見られちゃうので恥ずかしい、みたいな感じも持っていて、そこら辺が思ったように活用が進んでないところ

の課題になります。この課題に取り組むことで社内の風通しを良くし、通常業務の中で前の人は何をやっているか分からなくて納期に苦勞することなくなると考えます。また、AさんとBさんのやり取りを上司が見えていれば経緯もログとして残りますので、フォローの仕方もスムーズになると思っています。

## 3. ノーコードツールは何かお使いですか。また、合わせてセキュリティ対策は如何されていますか。

**近藤社長** kintoneで社員が内製しています。各申請書・勤怠管理・受注管理・売上管理などに使っています。現場の測定器の校正管理にも利用しています。今までExcelで作っていたものは大体が移行しています。kintoneはパーツをセットして感覚的に作っていくので内製が十分できます。DXの第一歩になると思います。セキュリティ管理に関して物理的には攻撃等はブロック出来ていると考えていますが、社員一人一人のメール対応、情報機器の扱いについては繰り返しの教育が大切です。社外とのデータ共有もありますのでセキュリティ管理を強化し進めて行くことが重要と考えています。

#### 4. 生産管理システム導入と運用についてお話しください。

**近藤社長** パッケージソフトで株式会社テクノアさんのTECHSを使っています。中小企業では多くのシェアを占めているでしょう。弊社の考えとして導入時にカスタマイズは行わず、業務をパッケージに合わせることを重視しています。コストの削減にもつながっています。例えば、見積もりの作成方法をシステムに合わせて変更し、効率化を図っています。また、システムの活用度を上げるための研修を定期的実施し、社員全員がシステムを効果的に使えるようにサポートしています。さらに、パッケージソフトの選定においては、導入後のサポート体制や更新頻度も重視しています。また、パッケージからデータを取り出してkintoneに取り込み、見たい資料を作ったりしています。

#### 5. 今後のAIやRPA活用の可能性についてお話しください。

**近藤社長** 自動化を進めることで、高付加価値な業務にシフトしていくことを目指しています。具体的にはRPAの精度向上を目指したいです。例えば、お客さんとの支払いに関わる部分で桁落ちなど無いように超高精度のOCRが出来ることです。精度99.8%だと残りの0.2%のために人の作業が残ってしまっは目的とするRPAで業務の自動化できません。精度が上がり自動化部分が増えれば浮いてくる工数で高付加価値の仕事ができるようになります。目指すところはここの部分です。

AIを活用した予測分析や、データドリブンな意思決定の推進にも力を入れて行きます。これにより、迅速で正確な意思決定が可能となり、ビジネスの成長を加速させることが期待されます。ChatGPTなどの生成AIについては、どこまで使うのかをまだ検討中です。



#### 6. デジタル人材育成について教えてください。

**真野ISO推進担当** 育成は知らなかったことを知っていくスタンスから始まると思います。私は70歳のときに社長から情報をいただき初めて知った世界で、社長からのトップダウンでDX等の取り組み、始まると前に進むしかなく、任された社員はどうしても勉強します。却って手取り足取り教わった方が身につかないのではないかと思います。

**近藤社長** 基盤整備室と言った部署を作り、全社に関わるインフラ整備、サーバー構築、LINEWorks、生産管理システムを中心に携わっています。今まで営業担当で兼務でしたところを、部署化する事で内製にも集中出来るようにしました。kintoneの社内展開は操作自体Excelで表を作ることに変わらなないので、Excelの応用で各自必要に応じて使い始めて貰いました。

#### 7. DXを進めようとしている事業所さんにアドバイスがありましたらお願いします。

**近藤社長** 今までのやり方で問題なく困っていないなら何もやらなくていいと思うのですが、何か課題があるのであればDXをやらない手はないでしょう。



株式会社：株式会社関一精機（ときいちせいき）  
所在地：松本市和田4020- 8 松本臨空工業団地内  
代表者：代表取締役 近藤 毅幸  
営業品目：精密機械加工・精密研削、試作品・単品加工、産業用機械装置部品製作、一貫対応  
URL：https://www.tokiichi.com/  
取り組み：

- ・ISO9001：2015(産業用機械・医療機器の金属加工)
- ・ISO14001：2015(産業用機械・医療機器の金属加工)
- ・健康経営優良法人
- ・長野県SDGs推進企業
- ・事業継続力強化計画に係わる認定
- ・デジタルシティ松本推進企業認定制度



【DX推進に関するお問い合わせ】 松本商工会議所DX推進部 TEL：0263-32-5350 Mail：mccidx@mcci.or.jp